

全国街道交流会議の開催について

国土交通省中国地方整備局/道路部長

祢屋 誠
NEYA Makoto



記念対談

1. 全国街道交流会議とは

街道を活用した地域づくりや地域間連携など、街道に関わる諸活動に取り組むNPO、個人、団体、市町村等が広域的な交流活動を行うことにより、街づくり、道づくりのためのネットワークを構築し、相互に連携、支援することを目的として、平成14年7月「全国街道交流会議」が発足しました。

2. 全国街道交流会議・萩大会

第1回目の全国街道交流会議が平成14年11月23日～24日、山口県萩市で開催されました。

中国地方整備局と中国経済連合会は、街道などを活かした地域づくりを支援する「夢街道ルネサンス」という取り組みを展開しており、その活動の一環として全国街道交流会議・萩大会に参画・協力をしました。

萩大会は、原点に立ち返り、地域づくりを語る大会として「**原点認識**」、「**足下出発**」をメインテーマに定め「萩で未知づくり」「歴史を拓いた維新の道」を合言葉に、全国から街道の歴史や街道を活かした地域づくりに関心を持つ約280人が参加し、交流が行われました。

1日目は、街道を振り返るとともに、これからの道のあり

方や道づくりを語る「記念対談」に続き、交流観光、情報支援、地域学習、街道連携の4つをテーマに「分科会」の開催。2日目は、毛利氏の城下町や参勤交代、維新の道である「萩往還」の歴史を訪ねるウォークが行われました。

(1) 記念対談

「街道 - うつくしき日本の道」をテーマに小谷寛氏(亀甲や代表取締役)の司会で、大石久和氏(国土交通省技監)、川勝平太氏(国際日本文化研究センター教授)による対談が行われ、かつて欧米からの旅人たちを魅了した日本の道が持つ「美しさ」、「奥深さ」、「地域の結びつき(コミュニティ形成機能)」について振り返るとともに、これからの道のあり方や役割、今後の道づくりが目指すべき方向性等について語られました。

また、特色ある地域づくりには、国と地方が適正な役割分担し、地域住民が愛着を持った整備が今後も必要であるとの確認が行われました。

(2) 分科会

第1分科会「交流観光」

「交流観光と街道」と題し、宮崎県綾町などの観光地域づくりを手がけた前田豪氏(株)リージョナルプランニング代表取締役)を講師に、街道を活かした交流観光についての議論が交わされました。

まず、鳥取県倉吉市の八橋往来や島根県大田市の石見銀山街道で取り組まれている事例の紹介が行われました。

この中で、県や地域を越えた連携やまとまりが多様な観光資源に変わることで、また「交流観光」にはハード面の整備だけでなく、そこに住み地域の魅力を語る「語り部」の役割が重要であることなどが報告されました。

第2分科会「情報支援」

「街道ナビゲーションシステム」と題し、都市計画、地域交通の分野で活躍されている藤原章正氏(広島大学大学院国際協力研究科教授)を講師に、街道に関する情報支援のあり方について議論が交わされました。

中国地方で取り組まれている地域ITS「i-TREK」、別府の湯巡り情報や岐阜県姫街道事業における街道ウォーク情報発信などの事例が紹介されました。この他、道が本来持つコミュニティ形成機能をナビゲーションシステムへ果たせないかなど、今後のナビゲーションシステムへの様々な取り組みについて提案されました。

第3分科会「地域学習」

「街道文化・暮らし文化の伝承」と題し、「歴史の道百選」を担当されている木曾功氏(文化庁文化財部長)を講師に、街道文化を活かした地域学習のあり方について議論が交わされました。

子供の萩往還ウォークや広島県東広島市で子供たちが地域案内ボランティアに取り組んでいる事例が紹介され、子供たちを含めた地域学習や地域活動の重要性が再認識されました。

第4分科会「街道連携」

「松陰街道の連携」と題し、伊豆の下田街道や青森県のみちのく松陰道と地域づくりに関する情報交換を行い、吉田松陰がたどった道を中心に、今後の全国各地との交流や連携への取り組みについて議論が交わされました。

3. 夢街道ルネサンス

中国地方では、街道の持つ役割を振り返り、街道周辺の歴史や文化を活かした地域づくりを地域が主体となり、地域の「思い」や「夢」を実現できるようにするため、「夢街道ルネサンス」という取り組みを展開しています。

平成13年度からは、地域づくりに「情熱」と「夢」のある地区をモデル地区として認定し、地域づくり活動のアドバイスや街道の情報発信などの地域づくりに関する支援を積極的に行っております。13年度は、「萩往還」をはじめとして、次の3地区が認定されました。

- ・八橋往来(鳥取県倉吉市)
- ・西国街道(広島県東広島市)
- ・萩往還(山口県萩市、旭村、山口市、防府市)

さらに、全国街道交流会議・萩大会の中で、平成14年度のモデル地区として、次の4箇所が認定されました。

- ・智頭往来(鳥取県智頭町)
- ・風待ち海道(島根県西郷町)
- ・出雲街道勝山(岡山県勝山町)
- ・二葉の里歴史の散歩道(広島市東区)

個性で魅力ある地域づくりを「点」から「線」に、「線」から「面」に展開するため、今後とも、モデル地区を認定し、街道等の地域特性を活かした地域づくりを中国地方整備局としても積極的に支援することにしています。

4. おわりに

全国街道交流会議・萩大会は、全国の街道を活用した地域活性化に取り組む方々の活発な意見交換などが行われ、有意義な大会となりました。

今後も街道の歴史、文化を活かした地域づくりなどの情報交換がなされ、地域の活性化が進むことを期待しております。

